

外国人と地域が一緒になった「やさしい避難所」づくり

防府市在住の技能実習生と、彼女達のアパートのある地域の住民とで防災研修会を3回にわたり企画しました。山口県に住む外国国籍の方は増加傾向にあります。言葉はもちろん、生活習慣や文化の違う技能実習生が、仕事をしながら地域の中に入っていくのはなかなか難しいでしょう。日頃から地域とのつながりを作ることで、災害時に「共助」の輪の中に入れるように、まずはお互いを知り、文化や生活の違いを理解することで、顔見知り以上の関係になることを目指します！

2024.3.20
第1回実習生研修会
 (丸久プロセスセンター)
 実習生16名・地域住民他22名

- 【プログラム】
- お茶会体験
 - 防災講座
 - ハザードマップ確認
 - 避難カードづくり
 - 防災調理
 - 昼食会



地域住民の方との初対面！



防災調理はじゃがりこサラダをつくりました



実習生と地域住民が向い合わせに座って、ハザードマップの中に自宅、職場、避難所の目印をつけ、危険がないか確認しました。

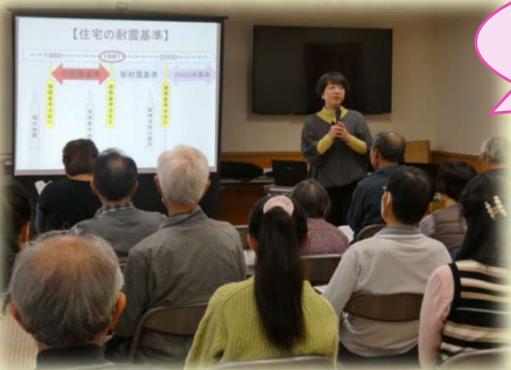


講座は通訳とベトナム語を書いた資料ですすめました



段ボールベッドの組み立て

寝心地は？



地域住民対象の研修会ですが、職場のベトナム人通訳と実習生2人が参加し、ベトナムの暮らしを紹介しました

2024.4.21
第2回地域住民研修会
 (岩田自治会館)
 実習生2名・地域住民他35名

- 【プログラム】
- 防災講座
 - 避難所体験
 - 昼食会
 - (炊出し試食)
 - ベトナムのくらしと
 - ベトナム語講座



地域の取り組みが県政のテレビ番組にも紹介されました。

災害時用簡易トイレにも座ってみました



段ボールベッドに座ってハイチーズ！



最後は、みんなでベトナム語の練習！来月の合同研修会ではベトナム語で挨拶ができるよう、3人からしっかりレクチャーをうけました。